

2019年度 事業報告書

国内におけるフェアトレードの認知向上とフェアトレード認証製品の市場拡大にあたり、「企業」「市民」「教育」「行政」という四つの分野・領域に対して普及活動に取り組んだ。企業間連携、市民と企業の連携、企業と行政の連携など、セクター同士を繋げる活動により、認証製品の販路拡大や製品数の増加に加え、公共調達でのフェアトレード調達促進などにも繋がった。また、より信頼・支持される組織運営を目指し、寄付などによる支援者との関係構築にも継続的に取り組んだ。今後も、持続可能な社会の実現に向け、ステークホルダーとの連携を通じ、フェアトレード普及の取組みを強化していく。

1. フェアトレード認証製品市場

2019年(1月～12月)国内の国際フェアトレード認証製品市場規模は推定で124億1,340万円(対前年比99.80%)。海外で認証された製品の国内販売がわずかに減少して、市場規模はほぼ横ばいという結果となったが、社内勉強会の実施や企業間連携の促進を積極的に展開した結果、外食や社内消費での認証製品導入事例の増加のほか、新規認証取得事業者数と新規発売製品数も増加し、多くの国内企業では販売量伸長に繋がった。



2019年度 新規認証取得実績	組織数	製品数
コーヒー	6	49
紅茶	2	-
カカオ	2	3
蜂蜜	-	1
加工果物・野菜	-	-
オイルシード・油脂果実	-	4
スパイス・ハーブ、ハーブティー	-	12
繊維	3	114
スポーツボール	-	1
合計	13(※1)	184

<フェアトレード認証参加組織数(※2)>

2020年3月31日現在： 合計217(前年度対比102%)

(※1) 既存認証取得組織による産品追加認証取得1件、2産品認証取得1社含む

(※2) FLJ認証組織(輸入、製造、卸、ライセンス)、FLOCERT認証組織、製造受託組織、海外完成品輸入組織等

2. 市場拡大・普及啓発のための事業

<企業>

ステークホルダーとのコミュニケーション促進・ネットワーク構築

フェアトレードへの理解を深め、国際フェアトレード認証のしくみや基準、そのインパクト、企業や団体が積極的にフェアトレードへ取り組む意義などを伝えるため、年間を通じて企業でのフェアトレード勉

強会やビジネスセミナーなどを実施。その結果、新規認証取得事業者数の増加、新規発売製品数の増加など、フェアトレード認証製品の販売促進に繋がった。

● 第12回ステークホルダー会合開催 (2019.7.24)

認証製品取扱い企業・団体や認証参加を検討中の方々が一堂に会する場として、2007年から継続して年に一度開催している「ステークホルダー会合」。第12回目の今回は、企画運営・会場提供において、楽天株式会社のご協力をいただき開催。120名以上の参加を得た。株式会社博報堂 DY ホールディングスの川廷昌弘氏をゲストスピーカーに迎え、「SDGsで自分を変える・未来が変わる」と題してご講演いただいた。また、ワークショップ形式の楽天大学特別講義「フェアトレードの商品/取り組み・サービスの良さをお客さんに伝えよう」では、会合参加者同士の交流と各社取組みの共有の機会ともなった。本会合から、企業間連携や販売促進につながる取組みが生まれている。



● セミナー・シンポジウム等での講演 (以下、主な講演実績)

- ・一般社団法人エシカル協会主催 エシカルコンシェルジュ講座 (5/25)
- ・一般社団法人日本エシカル推進協議会定時総会・記念シンポジウム (6/12)
- ・一般社団法人 ASSC 特別セミナー「持続可能な綿花 (サステナブル・コットン) の推進」(10/1)
- ・千葉県消費者団体ネットワーク強化事業 木更津市・君津市・淑徳大学共催セミナー (1/25)

<市民>

自主事業のみならず、理念を共有する団体や学生グループなどとの連携等を通じ、フェアトレードへの理解促進ならびに、フェアトレード認証製品の積極的な選択を呼びかけた。

● サポーター交流会開催 (2019.5.11)

日頃 FLJ を応援してくださるサポーターの皆さまとの交流イベントをコニカミノルタジャパン株式会社ご協力のもと、同社のセミナールームにて実施。経済のグローバル化が引き起こす様々な



課題を疑似体験する参加型シミュレーションゲームを実施したほか、ヤフー株式会社、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、コニカミノルタジャパン株式会社からスピーカーをお迎えし、「みんなで考えよう！フェアトレードが広がる未来」と題したトークセッションを実施。高校生からシニアまで、幅広い年代の方々にご参加いただき、ともにフェアトレードを広める仲間づくりの機会となった。

● クラウドファンディング実施 (2019.8.2-9.2)

アジア最大スペシャルティコーヒー展示会「SCAJ2019」にて、世界中のフェアトレード生産者と協働でブース出展し、日本のコーヒー業界にフェアトレード認証コーヒーの品質と魅力を発信するため、クラウドファンディングを実施して支援を呼びかけた。結果、これまで接点のなかった方々にも多数ご支援いただき、当初目標の50万円を上回る899,500円を134名の方々からご支援いただいた。支援者の方々が実

際に展示会場まで生産者に会いに来て下さったり、高品質の認証コーヒーをカップリングしていただいたりと、支援者と生産者を繋ぎ、フェアトレードをより身近に感じていただける機会となった。

●主な活動

- ・ メディア取材対応（年間計 85 媒体：テレビ 4、ラジオ 2、新聞 10、雑誌 25、Web12、その他 32）
- ・ 雑誌等への寄稿
- ・ セミナー・シンポジウム等での講演
- ・ 「フェアトレード月間」情報発信強化（5月）
- ・ ウェブサイト、ソーシャルメディアを活用した情報発信
- ・ フェアトレード学生ネットワーク（FTSN）や学生サークルとの連携・協力

<教育>

小学校の副教材や中学校・高校の英語、社会科、家庭科等の教科書でのフェアトレード紹介および国際フェアトレード認証ラベル掲載への協力や、フェアトレード普及に積極的な学校との連携を深めていくことで、フェアトレード普及に向けたアクションの促進を図った。

- ・ 授業・講義・教材提供での協力：年間 80 件以上
- ・ 高校・大学ゼミとの連携など

<行政>

行政主導による消費者教育教材や消費者キャンペーン・イベントを通して、フェアトレードならびにフェアトレード認証ラベルの認知向上を図れるよう、協力・連携を図った。

- ・ 教材制作協力・イベント協力：年間 30 件以上
- ・ 東京都消費生活総合センター教材制作協力「世界の未来をかえる店 エシカルスーパーマーケット」
- ・ 消費者庁によるエシカル消費の学校教材制作協力(2020 年度継続中)
- ・ 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」への協賛（1/10-2/9）

●国家公務員の初任行政研修の受入れ（2019.6.4）

将来、中核的な要員として活躍が期待される国家公務員の新規採用職員向けに人事院が行っている初任行政研修において、社会変革に挑む NPO や起業家の取組みを学ぶプログラムが行われている。本年度は FLJ でも経済産業省、農林水産省、環境省、国土交通省、総務省、法務省から初任者 10 名を受入れ、フェアトレードによって果たそうとしている社会変革についての講義とディスカッションを行った。将来、各省における施策に、フェアトレードのコンセプトが反映されていくことを期待する。

<フェアトレードタウン関連への協力>

熊本市、名古屋市、逗子市、浜松市に加え、2019 年には札幌市(6 月認定)と三重県いなべ市（9 月認定）が加わり、日本国内のフェアトレードタウンは合計 6 都市となった。それ以外にも全国各地約 30 か所でフェアトレードタウンを目指す動きが始まっている。フェアトレードタウン運動は、市民にフェアトレードへの参加を促す上で重要な役割を果たすものであり、FLJ としても、教材や広報物・情報提供のほか、行政によるフェアトレード調達の促進に向け、企業との橋渡しなど、地域の推進グループや教育機関・地

方自治体との連携・協力を進めている。政令指定都市としては初の事例として、名古屋市でのフェアトレード認証コットンを使用した被服（作業用ウェア）の導入がなされた。

3. ネットワーキング・連携活動

3-1 国内団体との連携・ネットワーク参加

理念を共有する組織やネットワークと協力し、サステナビリティ実現に向けた社会(企業・市民・行政)への働きかけ、情報発信、セミナー・イベント等を協働で行ったことにより、より幅広い層へのフェアトレード普及に繋げることができた。

- 特定非営利活動法人国際協力 NGO センター (JANIC) -正会員
- 一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ) -正会員
- 一般社団法人 日本エシカル推進協議会 -会員
- グリーン購入ネットワーク (GPN) -正会員・理事
- 一般社団法人日本スペシャルティコーヒー協会 (SCAJ) -会員 (2019.5月～)
- 一般社団法人日本サステナブル・レストラン協会 -アドバイザー (2020.3月～)
- サステナブル・カカオ・プラットフォーム -会員 (2020.3月～)

3-2 Fairtrade International ネットワーク関係

国内企業とフェアトレードへ参加する生産者との橋渡し役を果たすため、前年度に引き続き生産者ネットワーク組織との連携を強化。展示会でのブース出展、認証原料のサンプル紹介、個別商談アレンジ、生産者トークイベント、生産国でのフェアトレード認証コーヒー品評会への案内など、通年で企業と生産者を繋ぐ活動を展開。

●アジア最大のスペシャルティコーヒー展示会「SCAJ2019」ブース出展 (9/11-9/13)

世界 14 カ国・30 名のフェアトレードコーヒー生産者・関係者の来日をサポート。FAIRTRADE として協働でブース出展し、高品質の認証コーヒーのカッピングや試飲提供、個別商談を通じて、認証コーヒーの PR を図った。生産者にとっては日本市場の特性やニーズへの理解を深めただけでなく、その後、具体的な取引に繋がった生産者もあり、市場の獲得に繋がっている。



その他、参加会議は以下の通り。

- ・ FI LOA 会議出席 (5/27-29@オーストリア・ウィーン)
- ・ FI メンバー事務局長会議出席 (7/1-3@ドイツ・ボン、他 10 月・3 月会議はオンライン参加)
- ・ FI 年次総会出席 (7/4-5@ドイツ・ボン)

4. 認証・ライセンス事業

4-1 フェアトレード認証・監査業務

79社の認証事業者を対象に計43件の監査を実施した。

<本年度の監査実施件数>

監査の種類	件数
初回監査	16
更新監査	16
中間監査 (※3)	9
非通知監査	2
合計	43

<認証判定結果>

監査の種類	件数
認証一時停止の警告 (※4)	1
認証一時停止	1
認証取得・更新・継続 (※5)	41

(※3) 中間監査には、実地で行う場合と書類で行う場合とがある。

(※4) 「認証一時停止の警告」が出された認証事業者はその後正措置が確認され、認証が更新・継続された。

(※5) 2020年4月時点で是正期間中の事業者(2件)は含まれていない。

監査1件あたりの不適合数は2015年度1.9、2016年度1.3、2017年度0.97、2018年度0.73へと大きく減少傾向であったが、今年度は0.88と少し増加した。これは初回監査の件数が多かったことに起因する。不適合が確認されなかった認証事業者の割合は、2016年度39%から2017年度56%、2018年度58%、2019年度60%へと増加傾向にある。これらの数値変化により、国際フェアトレード基準への理解が深まり、基準に沿った管理方法が確実に浸透してきていることが分かる。

その他、認証ライセンス関連では、新コットン認証ラベル導入対応を行った。

4-2 認証監査業務の適正運用

FLJの認証監査業務が、ISEAL(International Social and Environmental Accreditation and Labelling)が定めるAssurance Code(監査認証プロセスに関する基準)、ならびにISO17065(製品認証機関の認定)に従って、適切に運用されているか、例年通り、内部監査の実施に加え、本年度はFairtrade International (FI)からも実地監査により適合性のチェックを受けた。

●内部監査の実施 (2020.1.15)

監査から認証判定までの一連の業務が、適切に滞りなく行われていることが確認された。

尚、内部監査項目外ではあるが、認証取得事業者ではない一般事業者による認証ラベル使用違反を発見した際の対応手順をまとめておくことが望ましいとの指摘を受け、内部手順を整備した。

●FI実地監査への対応 (2020.1.27-28)

事前に提出したFIが定める認証機関向け基準(Requirements for Assurance Provider-RAPs)に対するセルフアセスメントについて監査。FLJによる企業監査の査察も行い、適正に監査業務が行われていることが確認された。

4-3 ライセンス業務システムCONNECTの導入 (2019.4月～)

製品認証申請ならびに認証製品の四半期販売報告のオンライン申請システムCONNECTを導入。操作マ

ニュアルの提供と個別対応により、大きな問題点なく導入できている。本システム導入により、紙ベースでの申請書類が不要となり、認証事業者と FLJ 双方で負担軽減に繋がっている。

5. FLJ 組織運営

多くの方々のご支援を受けて 2018 年度に「認定 NPO 法人」として所轄の東京都から承認され、本年度も引き続き、多くの人たちに支持される組織を目指して支援者との関係構築を行った。マンスリーサポーターなど継続寄付制度を導入したことにより、さらなる支援者拡大に繋げることができた。また、働きやすい環境整備によるスタッフのワークモチベーション向上を目指し、前年度に続き、テレワークの活用を広げた。

●FLJ 組織体制 (2020 年 3 月 31 日現在)

- ・正会員： 個人会員 18、団体会員 2
- ・支援者： サポーター171 名
- ・役員： 理事 5 名、監事 2 名
- ・事務局： 常勤 4 名、非常勤 1 名、学生インターン 2 名

● 通常総会開催

日時：2019 年 6 月 22 日 (土) 13:00~15:00

場所：東京都中央区日本橋富沢町 11-6 英守東京ビル 3 階 (FLJ 事務所)

議題：議決事項 (第 1 号議案) 2018 年度 事業報告書承認の件
(第 2 号議案) 2018 年度 決算報告書承認の件
(第 3 号議案) 監事の選任

報告事項 (1) 2019 年度 事業計画
(2) 2019 年度 予算
(3) 理事の選任

● 理事会運営

- ・第 1 回： 2019 年 5 月 30 日 (木) 19:00~21:30
2018 年度事業報告・決算報告、役員選任、規程承認 (役員報酬、給与)、2019 年度事業計画・予算、中期計画
- ・第 2 回： 2019 年 12 月 14 日 (土) 13:00~17:00
事務局報告、2020 年度以降経営方針・事業戦略、アドバイザー
- ・第 3 回： 2020 年 3 月 7 日 (土) 13:00~17:00
2019 年度収支見込、2020 年度予算・事業計画、アドバイザー規程、参加ネットワーク